



下田まち遺産のある風景。

港文化が息づく須崎で 下田まち遺産ウォーキング。

複雑な海岸地形が特徴的な須崎半島。地形を活かした港には多くの漁船が並んでいます。今回は恵比須島から須崎歩道を通り、最終目的地九十浜海水浴場までを歩きます。



01 えびすじま 恵比須島(ジオサイト)

鮮烈な磯の香りが心地よい恵比須島は石壁に囲まれた島ですが、橋や周遊のための道路が整備されており、海までのアクセスも良く海水浴や磯遊びを手軽に楽しむことができます。さらに島の西側の石壁は地層によって描かれた雄大な白壁に対し、島の東側は溶岩が急速に固まった壁であり、溶岩の荒々しさを実感できます。

04 こうしんどうとさいごくさんじゅうさんかんのん 庚申堂と西国三十三観音

小白浜から山ルート須崎歩道を歩くと、程なくして現代的空間から突然歴史的な空間に変わります。そこにあるのが庚申堂と西国三十三観音です。庚申堂は庚申信仰の象徴であり、三十三観音は海の安全と五穀豊稔を祈願して安置されたものです。貴重な存在として文化財に指定されています。

02 ちくじょうせき 築城石

築城石は須崎漁港の埋め立ての際、引き上げられた巨大な御影石です。江戸城築城の際に石を運ぶ廻船が海難事故に遭い、やむを得ず海に落としたものと伝えられています。当時は乗組員の安全のためとはいえ御用品を海に捨てることは大罪です。この巨石には薩摩十六烈士のような悲しい物語があるかもしれません。

05 すざきほうど 須崎歩道

小白浜から爪木崎まで整備された須崎歩道は、海の魅力と山の魅力を一度に味わうことのできる遊歩道です。歩道上には庚申堂、三十三観音があります。他にも、以前は石切場で現在は風化により美しい景観を作り出している細間の段などがあり、先人の営みや大自然の雄大さを肌で感じることができます。

03 こじらはま 小白浜

須崎名産「日戻り金目鯛」で有名な小白浜は、漁村の風景を今に残し下田らしい懐かしさを醸し出しています。漁業が盛んで日戻り金目鯛の他にもアワビや伊勢海老などを獲ることができます。なかにはタカアシガニ（下田近海で獲れるようです）を獲っている船もあり、港近くの市場はにぎわいます。

06 ちゅうじょうせつり 柱状節理(ジオサイト)

爪木崎の魅力の一つである柱状節理は、約500万年前に燃えたぎる溶岩が海水によって急激に冷却され、五角形の幾何学的模様になった石柱となったものです。これは学術的にも珍しい大地の記憶です。その形から俵石と呼ばれ、江戸時代には建築資材として盛んに使われたと言われています。



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J



K



L

07 つめきざき 爪木崎

寒さが身にしみるこの時期は、爪木崎が水仙の甘い香りに包まれる時期でもあります。300万本の水仙が織り成す景観は見る者に感動を与えます。12月下旬から水仙祭りが開催される爪木崎には、灯台からの絶景や柱状節理などの様々な魅力もあり、また皇室とゆかりのある場所としても知られています。

08 くじゅっぱまいしよくじょう 九十浜海水浴場

小規模ながら抜群の透明度を誇る九十浜海水浴場は、周囲を山に囲まれた静かな海水浴場でプライベートビーチのような雰囲気があります。海は穏やかで美しく、遠浅で磯遊びもできます。昔は鯨浜と呼ばれたこの浜は今も多くの人に愛されており、これこそ下田のまち遺産にふさわしいとの提案が数多く寄せられました。

- A 恵比須島を須崎半島より見下ろす。⁰¹
- B 島を形作るのは、数百年前の海底火山の痕跡を残す地層群です。島の外周を回る遊歩道沿いには歪んだ表情の地層や、荒々しい地肌が興味深い地層を観察することができます。⁰¹
- C 須崎漁民会館前にある築城石は幅2mの巨石。手作業で石を切り出した痕が今も残ります。⁰²
- D 築城石を運ぶ際に空けられと思われる網を通すための穴が、当時の風景を想像させます。⁰²
- E 小白浜には金目船(金目鯛を釣る船)、観光船、エビ網船(伊勢海老を釣る船)などが並んでいます。⁰³
- F 三十三観音は苔むした岩をくり抜いた空間に安置されています。その表情は様々。⁰⁴
- G 須崎遊歩道は海沿いや山中を歩くことができ、風景がめまぐるしく展開します。⁰⁵
- H 遊歩道の途中にある「細間の段」という広場。ウォーキングの途中の休憩スポットに最適。⁰⁵
- I 爪木崎西側に広がる柱状節理は上からも、近くでも観察することができます。⁰⁶
- J 白亜の灯台が立つ爪木崎公園。灯台の先からは太平洋がパノラマに広がります。⁰⁷
- K 爪木崎の浜辺は美しいエメラルドグリーン。岩場もあり、磯遊びにも適しています。⁰⁷
- L 道路からも見える九十浜海水浴場は小さいながら遠浅のビーチが人気。⁰⁸

早春の爪木崎で「水仙まつり」開催

2012年12月20日 ▶ 2013年1月31日

碑の斜面を覆い尽くす約300万本の野水仙。辺りは水仙の甘い香りが軽やかに漂います。下田まち遺産を巡りながら、水仙まつりも併せてお楽しみください。
※期間中は地場産品や郷土料理の店が出店がされます。



こちらの下田まち遺産については、下田市役所ホームページ内にて紹介しております。

下田まち遺産

検索